

テレ朝NEWS

千葉県警『外国人総合対策室』を新設

25.04.01

千葉県内で増えている外国人が犯罪に巻き込まれることなどを防ごうと、千葉県警察本部は、今年度、新たに「外国人総合対策室」を立ち上げ、啓発活動などを強化することになりました。

千葉県警に今年度新たに発足したのは、外国人が犯罪に巻き込まれたり、犯罪組織と関わったりするのを防ぐ「外国人総合対策室」です。

千葉県内での外国人の数が昨年末の時点で23万1000人余りと、3年連続で増加するなかで、新たな対策室では、25人体制で自治体や外国人を雇用している企業と連携し、防犯に関する情報発信のほか、違法行為に対する厳正な取り締まりなどを行うとしています。



千葉県弁護士会 『外国人のための労働相談会』を実施

25.06.10

千葉県国際交流センター共催、千葉労働局後援のもと、外国人向け労働問題を中心とした無料の法律相談会を実施します。チラシ記載の対応言語については、通訳付きとなりますので、支援、関わりのある外国籍の方にご案内頂ければ幸いです。

また、労働問題が優先ですが、それ以外の一般の法律相談も受け付けております。

外国人のための無料労働相談会



1. 日 時 2025年6月30日(月) 午後1時～午後4時(1人45分)
※相談には予約が必要です。予約は下記の電話番号かメールにて、お願いします。

TEL: 043-297-2966

メールアドレス: soudan@ccb.or.jp

成田・ホスピタリティ・アカデミー 実習生の入国後講習に特化した施設を発表

25.06.12

MRM合同会社(本社:東京都港区、代表:山本俊祐、以下MRM)が運営する、外国人技能実習生のホテル技能実習に特化した入国後講習施設「成田・ホスピタリティ・アカデミー」(所在地:千葉県成田市、以下本アカデミー)では、第9期生となるネパール連邦民主共和国(以下、ネパール)からの技能実習生30名が6月12日から7月11日まで約1カ月間、本アカデミーで受講をいたします。



本アカデミーは、宿泊特化型から総合リゾートホテルまで、さまざまな業態の宿泊施設を運営するマイステイズ・ホテル・グループ監修による外国人技能実習生向けの研修プログラムを、ビレッジハウス・マネジメント株式会社が管理する専用施設で学ぶことができる専門施設です。

2023年6月1日の開校からこれまで、第1期から第8期まで282名の実習生が本アカデミーでの講習を修了しております。講習を終えた実習生は、マイステイズ・ホテル・グループのホテルへと配属。現在は全国のホテルにて第一線で活躍をしています。

朝日新聞

ネパール人留学生らが駅周辺を清掃（我孫子）

25.06.15

留学生に日本の生活習慣やルールを学んでもらおうと、千葉県我孫子市の日本語学校「AOI 日本語学院」のネパール人留学生らが14日、清掃ボランティアをした。我孫子市内ではこの数年、ネパール人留学生が急増しており、学校側の呼びかけで5月から定期的に行っている。



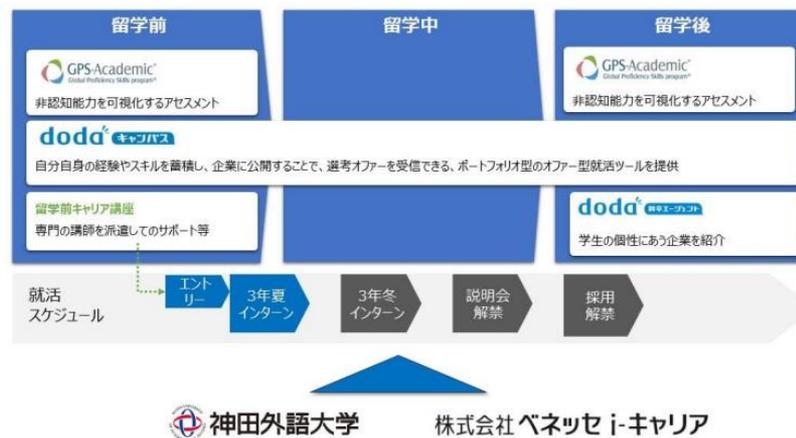
留学生と職員はこの日午前、学校のあるJR常磐線天王台駅や寮のあるJR成田線東我孫子駅の周辺で、ゴミ袋を手に30分余り清掃をした。たばこの吸い殻や空き缶などを拾い、行き交う市民らに「こんにちは」などとあいさつもしていた。今後も、月に1度のペースで行うという。

神田外語大学×ベネッセ 留学生へのキャリア支援で協働

25.03.14

株式会社ベネッセ i-キャリア(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:乾史憲)は、神田外語大学(千葉県美浜区、学長:宮内孝久)が2025年度からスタートする留学生向けキャリア支援プログラムに協力する。

このプログラムは、大学3年生の夏から長期留学を予定している神田外語大学の学生を対象に、留学前から留学後まで一貫したキャリア支援を行うもので、アセスメントや情報提供に関してベネッセ i-キャリアのサービスを活用する。就職活動の早期化が進む中、海外留学される学生に対して、留学前・留学中の就職活動への不安を解消するだけでなく、卒業後に留学経験を活かしたキャリア実現の支援を目指す。



外国人実習生がパトロール警察官と 防犯支える、千葉

2025.08.26



「こんにちは！」。外国人技能実習生たちの元気な声が住宅街に響く。千葉県銚子市では実習生が月に2回ほど、銚子署の警察官とともに防犯パトロールに参加している。高齢化により防犯の担い手が減少する中、警察と企業、外国人実習生が手を取り合って地域を見守り、共生社会の実現にもつなげたい考えだ。

市長きらり企業めぐり松山鋼材株式会社 社四ツ葉油化株式会社

2025.09.19

本市では、昭和40年代に整備された「みどり平工業団地」内の企業をはじめ、多くの企業が多様な業種にわたり事業を展開し、市の産業を支えています。銚子連絡道路インターチェンジの整備による利便性の向上と成田空港に近い優位性などを生かして、企業誘致を進めています。また、地元企業の持つ技術や情報の活用および新たな技術などの導入を支援し、既存企業の経営基盤の強化や新規事業の展開を促進するとともに、地域資源を生かした企業を支援しています。



杉山工場長代理から説明を受ける様子

外国人留学生が街の安全呼びかけ 千葉県中央区で警察と少年非行・交通事故防止 へ

2025.07.26

在留外国人が増加する中で誰もが安心して暮らせる街作りを目指し、千葉中央署と市内の外国人留学生らが25日、千葉市中央区の京成千葉駅西口前広場で少年非行と交通事故の防止を呼びかけた。留学生が普段関わりの少ない警察官と一緒にボランティア活動を行うことで、警察への信頼感を高め、日本の社会を構成する一員として防犯意識を持ってもらうことが狙い。日本の警察が取り締まりだけでなく、犯罪の抑止活動を行っていることを知らせる目的もある。



留学生らは、横断歩道での減速「ゼブラ・ストップ」の励行をパネルを持って呼びかけた = 25日午後6時ごろ、千葉市中央区

「外国人はもう日本を選ばなくなる」経営者たちが抱く深刻な懸念 ベトナム人実習生なしでは「成り立たない街」で見たこと



2025.12.15

千葉県銚子市の缶詰工場で働くホー・ティ・トゥイ・ニョンさん（38）は、毎朝8時から缶詰工場のラインに立つ。魚の頭と尾を機械で切り落とし、異物を手で取り除く。焼いた魚を網から下ろす繊細な作業もこなす。作業は工程ごとに分かれ、数時間おきに担当する工程が変わる。「入ったばかりの頃はどの工程も戸惑いましたが、すぐに覚えました。担当がどんどん変わるけれど、全部慣れるとかえって面白いです」ニョンさんはベトナム人技能実習生。8歳の子どもと夫を母国に残し、夏からここで働く。従業員80人のうち、同じ国からの技能実習生はニョンさんを含め16人。缶詰工場の社長は話す。「銚子の1次産業は、外国人なしでは成り立たない。漁獲から水揚げ、卸売、加工まで、どの段階も彼らが支えている」外国人なしで成り立たないのは銚子だけではない。ただ、経営者側には心配がある。外国人が将来、日本を選ばなくなる恐れだ。選ばれ続けるには、受け入れる側にある「意識」が必要という。それは一体何か。

出典：<https://www.47news.jp/13596822.html>

日本語試験に3度続けて不合格、失意のベトナム人実習生に「替え玉受験するか？」...スマホだけで驚くほど簡単に

2025.11.08

日本で暮らす外国人が人口の1割を占める「外国人1割時代」が国の予測を上回るペースで迫る中、在留資格の取得に必要な日本語試験で不正が相次いで明らかになっている。不正の背後にある事情と、制度への信頼を向上させるための方策を探る。

チャンさんはSNSで日々の出来事や心情などを投稿していた。下はチャンさんが収容されていた大阪出入国在留管理局＝画像は一部修整しています。「家族のために日本に長く住み、お金を稼ぎたかった」。ベトナム国籍のレー・ティン・チャンさん（34）（女性、仮名）は母国に強制送還される直前の7月半ば、収容されていた大阪出入国在留管理局内で、通訳と訪れた読売新聞の記者にベトナム語で明かした。



年間5000人超が失踪...「ベトナム人技能実習生」 の不法滞在を支える闇ビジネスの実態とは？

2025.08.18



失踪者は捕まることを恐れて、発見されるまでに何が何でも稼がなければならないという意識があるので、驚くほど真面目に働かし、残業も厭わないようだ。そのため、特に一次産業の人手不足に悩む会社は、あえて身元を調べずにベトナム人をまとめて雇用することもあるという。彼はつづける。「実習生は制度によって給料が抑えられていますが、うちが紹介する会社なら日本人と同じ給料をもらえます。普通に働いて月に25万円くらい、休みなしで残業をたくさんすれば30万~40万円は稼げる。だから僕らが手数料として半分取っても、15万~20万円くらい手に入る。家賃はこっちで負担しているので、実習生として働くより収入はいいんです。

不法就労助長の疑い、八街の農家を書類送検 「日本人はすぐ辞めてしまう」

2025.07.11



千葉県四街道署は7月10日、八街市の農業従事者の60歳と58歳の男性を、入管難民法違反(不法就労助長)の疑いで書類送検した。2人は、在留期限が切れたタイ人を畑で働かせていた疑いで、いずれも容疑を認めている。

60歳男性は昨年5月から今年5月にかけて、58歳男性は昨年6月から今年5月にかけて不法就労させていた。2人は「人手不足」や「日本人はすぐ辞める」と理由を述べている。このタイ人は、自ら60歳男性の農家を訪ねて就労を希望。5月に交通違反で逮捕された際に「農家でアルバイトをしている」と話したことから、警察が雇用先を捜査していた。

千葉県内の留学生、最多1万8664人 前年比17%増 ネパール1位

2025.09.25

千葉県内の大学などに在籍する外国人留学生数が、今年5月時点で前年比2724人（17・1%）増の1万8664人となったことが、県のまとめで分かった。新型コロナウイルス禍の影響で2022年に9504人にまで減少していたが、23年以降は1万人台で推移し、今年は現在の調査方法をはじめた19年以降で最多となった。

